



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 Tel.25-4854/fax24-8204  
ホームページ [www.jcp-isesaki.net/](http://www.jcp-isesaki.net/) メールアドレス [sgidan@jcp-isesaki.net](mailto:sgidan@jcp-isesaki.net)

# 学校給食費無料化を提案

県内既に無料自治体 8  
一部無料等 10

施策	無料化実施自治体名
全額免除	南牧村、上野村、神流町、 孺恋村、みどり市、渋川市、 板倉町、草津町
第2子	片品村
第3子	前橋市、榛東村、富岡市、 桐生市、太田市(第2子2分 の1)、安中市(中3・2無料)
補助	玉村町 25%、高山村 20%、 大泉町 10%

定例会が6月2日から26日まで開かれ、北島元雄市議が一般質問し、長谷田公子市議が介護保険などについて所管事務調査しました。

7人に1人の子どもが貧困世帯と言われる中で、憲法で保障された「義務教育は無償」の考えに加え、子育て支援のため学校給食を無料化する自治体が増えていきます。

## 無料化自治体の弁

■「給食は食育の一環」(みどり市長)  
■「子育て世代の支援に重点的に取り組む」

(渋川市長)

■経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備に第3子以降無料化実施(前橋市)  
■食育の推進、子育てを応援し、未来へ羽ばたく子どもたちを支援するため一部補助(安中市)

■第2子の給食費半額助成を追加し未来ある子どもも支援拡大(太田市)。

県内では8自治体が完全無料化、10自治体が発給料が第2子・第3子などの無料化や一部補助をスタートさせました。

## 冷たい伊勢崎市

ところが伊勢崎市は「エアコン設置、トイレの改修で教育環境を整えた」「食料費は父母負担の国の方針に従って無料化の

## 学校給食無料化を求める請願

新日本婦人の会伊勢崎支部と境支部は、議会に学校給食費の無料化を求める請願書を提出しました。請願は北島市議・長谷田市議が紹介議員となり、文教福祉委員会で継続審査となりました。採択を求めて運動を広げましょう。



請願提出に紹介議員として同席する党議員団

考えはない」との筋違いの答弁です。

夏の気温が高い伊勢崎市で、エアコンの設置を進めるのは当然です。無料化を実施している自治体の財力と比べても、伊勢崎市でできないことではありません。

「給食費などを支給する就学援助で対応している」と言いますが、就学援助を受けている子どもは、完全無料化を実施している渋川市7・3%、

みどり市7・8%と比較して、伊勢崎市は5・9%で手厚いとはいえませぬ。

子育て支援をすると言ふなら、伊勢崎でもぜひ実施するよう求めました。

全県に組織された「学校給食費の無料化をめざす会」は、毎年、県知事に多数の要望署名を提出しています。

県民運動と連携し無料化を実現させましょう。